

# COC+事業概要 【事業名：岐阜でステップ×岐阜にプラス 地域志向産業リーダーの協働育成】

## 【背景と地域の課題】

岐阜県は年間4千人規模で県外に人口が流出しており、特に20歳代で、職業上の理由から県外とりわけ愛知県に転出するケースが最も多い。その要因として、愛知県は大企業が多く岐阜県からの通勤圏であること、学生が岐阜県内の企業・産業の魅力を十分に把握できていないこと、岐阜県内の企業もその魅力を学生に十分に発信できていない、あるいは学生の能力を十分に理解できていないこと等の理由が考えられる。そのため学生と企業が相互にその魅力を理解すること、地域に定着して地域産業の活性化に貢献できる人材を育成することが求められている。

## 【目的】

岐阜大学では「地域にとけこむ大学」を目指して、現行COC事業において地域のリーダーとして活躍できる「地域志向人材」(ぎふ次世代地域リーダー)の育成に取り組んでいるが、さらに他大学・企業・自治体・金融機関とが協働して**地元企業と学生との関わりを強化し、地域のニーズにより適した人材を育成することで、地元定着の促進を図る。**また、大学の知を活用した**産官学共同研究を通じて、産業振興を促進し、雇用創出の取り組みを進める。**

## 【概要】

### ①新規教育プログラムの実施

- 岐阜大学は、現行COC事業の次世代地域リーダー育成プログラムを基盤として、地域(産業界)が求める「5つの力」の修得を目的に、地元企業へのインターンシップを核とする**3ステップ構成の「産業リーダーコース(仮称)」**を実施する。
- COC+参加校も同様に、**3ステップ構成で独自の教育プログラム**を実施する。
- 参加大学共通プログラムとして、地元企業をより深く理解するために**企業見学会・サマースクール**を実施し、さらに企業に対して学びの成果を発表する場として**企業向け成果発表会**等を実施する。

### ②産官学共同研究を通じた学生にとって魅力のある雇用の創出

- 大学独自のシーズを生かして、**産官学共同研究による産業振興を通じた雇用創出の取り組みを進める。**

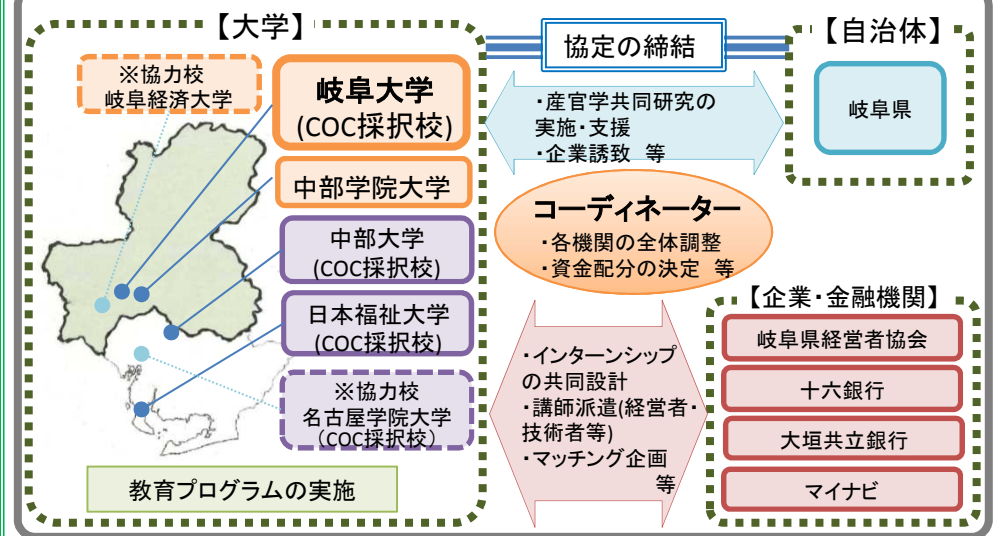
### ③参加大学が共同で取り組む高大連携事業や県内企業との連携事業の実施

- 地元企業と学生のマッチングを強化するため、**地域産業界との連携による企業展や、企業情報の発掘・共有する取り組み**を実施する。
- 県内高校生の県内大学への入学(地元進学)と県外高校生の県内への「呼び込み」を促進することを目的として、高校生(とその保護者)を対象に、**大学の魅力を発信する学生展・文化祭**等を実施する。

## 【特徴】

- 岐阜大学が**インターンシップを核とした3ステップの教育プログラム**を実施する。
- 岐阜県をフィールドとして**参加大学が共通のステップに基づいた教育プログラム**を実施することで、**育成能力の共有化が図られ、教育の質が向上する。**
- 県内の大学に加え、**愛知県(岐阜県からの最多人口流出先)の現行COC事業採択大学と事業協働機関**を構成する。
- 県内大学生の地元就職・定着の促進に加え、**愛知県の大学へ進学した岐阜県出身者のUターン就職を促進する。**

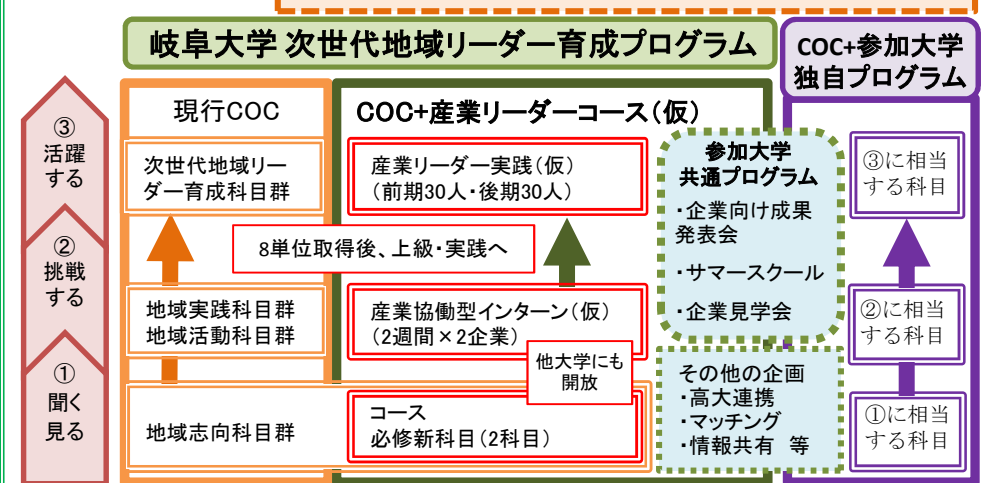
## 【事業協働機関】



## 【教育プログラム】

### 5つの力を重点化

俯瞰力/共同推進力/駆動力/課題解決力/地域志向力



## 【平成31年度就職率の数値目標(平成26年度比)】

○岐阜大学...地元就職率8%向上(就職者60人増) → **参加大学の岐阜県就職率 8.4%向上(就職者124人増)**  
 ○中部学院大学...地元就職率5%向上(就職者14人増)  
 ○愛知県の大学...Uターン就職率※10%向上(就職者50人増)

※Uターン就職率=(岐阜県就職者数)/(岐阜県出身の就職者数)